

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

様式1

No. 0901012

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 (補助対象) 事業費 102,000千円 補助率 55% 事業量 用水路 一式、圃場配管 2箇所 事業期間 平成24年度～平成28年度 (補助対象外) 計画樹立～平成23年度 事業費 1,607千円
基本施策	1 農業の振興	事業優先度	A	
単位施策	1 土地基盤の充実	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	団体営かんがい排水事業	見直し年度		
事業期間	平成23年度～平成24年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	事業効果の実証	関係課	#N/A	
事業目標	受益農家への普及PR	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	2	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成 20 年度 事業内容	平成 21 年度 事業内容	平成 22 年度 事業内容	平成 23 年度 事業内容	平成 24 年度 事業内容	
計 画 内 容	・計画樹立 ・用水路 一式 ・試験圃場整備 6箇所				・計画樹立	・調査測量設計	
	事業費(千円)	22,620	0	0	1,300	21,320	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	11,726				11,726	
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	10,894				1,300	9,594	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	22,397	0	0	1,607	20,790	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	11,434				11,434	
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	10,963				1,607	9,356	
関 連 事 項	(特定財源の詳細等) 農山漁村活性化プロジェクト 交付金 【評価・実績】	(実施内容等) ※前年度評価結果	(実施内容等) ※前年度評価結果	(実施内容等) ※前年度評価結果	(実施内容等) ・計画樹立 ※前年度評価結果	(実施内容等) ・調査設計 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	
	第4期総合計画関連 (継続無し)	年度目標値			計画樹立	調査測量設計	
		年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	124%	98%
		全体達成率	0%	0%	0%	7%	99%
		事業進捗状況				☆☆☆☆	☆☆☆☆

事業名	団体営かんがい排水事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	石井 弘道
		評価者 作成者 職氏名	産業振興課長補佐	辻 栄 浩 二

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	団体営かんがい排水事業受益者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	飼料作物の干ばつ被害の解消								
【抱える課題やニーズは】	干ばつによる営農への影響	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	畑かん施設の導入による粗飼料の高位安定及び品質の向上	① 調査測量設計の実施	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>平成24年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>1式</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>1式</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100.0%</td> </tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	1式	実績値	1式	達成度	100.0%
目標年度	平成24年度										
目標値	1式										
実績値	1式										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	粗飼料生産を拡大し、酪農経営の安定を図る。	②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>#DIV/0!%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	調査測量設計委託業務の実施	平成25年度から工事着手できるよう調査設計業務を実施した。									

■事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	国営事業の関連事業として位置付けられた事業であり、末端の畑かん施設を整備することにより、粗飼料の高位安定及び品質の向上を図るため、必要な事業である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	平成25年度から工事着手できるよう調査設計業務を実施した。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	委託業務を発注したことにより、資料作成に要する時間が短縮され、効率的と判断する。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平	判断の理由	末端の畑地かんがい施設利用者から利用料を徴収するものであり、公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
畑かん施設を導入し粗飼料の高位安定等を図る事業であることから、計画のとおり事業を進めることが適当と判断する。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
営農労力の軽減、粗飼料生産の向上により、酪農経営の安定化が図られるので、引き続き最優先して実施すべき事業であり、当分は現状維持が適当である。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止